月刊関複

2019 September
No.54

9

七里ヶ浜（写真提供：北田 博章氏）

- 巻頭言　朝香雅文 副理事長
- 関複セミナー（キヤノン MJ）の報告
- わが社の業務（特別編）クイックス
- 関複セミナー（コニカミノルタ J）のご案内
- 協賛会社からの提案
- ５G（ファイブ ジー）について　藤田 友久

関東複写センター協同組合

Canon

imagePRESS
シリーズ最高の高画質で
プリントビジネスを
スマートに支援します。

カタログ、アルバム、同人誌、パッケージ・・・
プロダクションプリンターの成果物に
求められる品質は日々高くなっています。
imagePRESS C10000VP/C8000VPでは、
トナー、レーザースキャナー、スクリーンなどを改良することで、
imagePRESSシリーズ最高の高画質を実現しました。
さらに、レジ精度などの画像品質も向上し、
仕上がりにこだわるお客様のニーズにスマートにお応えします。

※オプションを含みます。

imagePRESS C10000VP/C8000VP

本体価格：2,500万円（税別）
連続プリント速度：100ppm
（カラー/モノクロ・A4ヨコ片面）

本体価格：1,500万円（税別）
連続プリント速度：80ppm
（カラー/モノクロ・A4ヨコ片面）

◎オンデマンドプリンター ホームページ
canon.jp/pod-printer

◎キヤノンお客様相談センター
プロダクション向け複合機 050-555-90053
受付時間 平日9:00～17:00
（土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます。）

※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9626をご利用ください。※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン（株）カタログ請求「imagePRESS」係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

◆巻頭言50

「60 回目の夏！」

関東複写センター協同組合
副理事長　朝香 雅文

皆さん、夏バテしていませんか？1年前にこのコラムを書いていた7月は記録的な暑さの中、毎日野球観戦をしていて熱中症になり大変でした。（痩せたんじゃなくて、ヤツレタ話）

それに比べて今年の7月は25度を超える日が少なく、何よりも日照時間が本当に短かったです。今更ですが、自然というものはわからないモンですね。

さて、私事ですがこの秋に還暦とやらを迎えます。なんか実感が湧いてこないのは何故なのか？昔の60歳といえば、定年・年金暮らしといった感じでしたが、今では1つの通過点にすぎませんよね。

どこが昔の60歳と今の60歳は一番違うのか、それは日本では自分より若い人が年上の人より少ない事でしょう！少子化により若い人口が減り、長寿化により年寄りが増えてる。60歳なんてまだまだ若いと言われる時代になった。

そうは言っても仕事社会の中で20代、30代、40代と3つの世代が下にいるとやはりかなりのジェネレーションギャップを感じる。特にもの心ついたのが平成時代で、日本の高度経済成長期を知らずに育った世代の考え方は正直いってわからない。まあ、これら全てを「時代だよ」の一言でまとめてしまえば、簡単に割り切れるし、そう考えなければいけないのかもしれませんね。

還暦に赤いちゃんちゃんこを着る一説に、十干と十二支を組み合わせた干支が一巡し、生まれた年の干支に戻ることから、文字通り、「暦（こよみ）が還（かえ）る」、また「本卦還り（ほんけがえり）」とも呼ばれ、もう一度赤ちゃんに返るからと言われてます。しかし、もう一度赤ちゃんに返って人生をやり直す気力がある人ってどれ位いるのでしょうか？私にはそんな気の遠くなるようなことはとても考えられません…（笑）

他の説は、人生最後の厄年が還暦の年にあたる事から、昔から赤い物は縁起が良く、魔除けなどの効果があるとされていたため、魔除けや厄除けとしての意味があるそうで、ならば全身真っ赤な衣装で派手に厄除けするのも良いのかもしれませね。

最後に、人間だれでも年とともに時間の流れがどんどん速くなってきますよね。一年なんてあっという間に過ぎます。なぜ年をとると時の流れが速いか？

前に子供の頃と年とってからの時間経過の実感の差についてこんな解釈を聞いたことがあります。

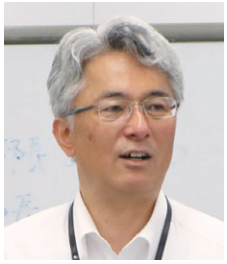
【時間の流れの速度に違いがありようはずは無い。一時間は一時間、一年はあくまでも一年。つまり時はいつも同じ速度で流れている川のようなものだが、その川のほとりを流れに沿って歩いていく人間の歩みの速度は、年とともに肉体が老化してだんだん遅くなっていき、遅くなっていく歩みの速度と川の流れの対照的な差からして、同じように歩いているつもりの人間にとっては、川の流れがにわかに速くなったような気がするのだろう】

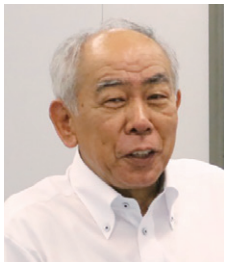
大変に面白いたとえですね。

最近、川の流れが激流に感じてるのは私だけかなー（笑）

関複 関複セミナーを開催

キヤノン MJ インバウンド需要を取り込む 大判プリンターと多言語対応作成ソフトPosterArtistを紹介


山崎部長


松岡部長

関東複写センター協同組合（関複、斎藤隆正理事長）は7月23日午後2時半から、東京・港区のキヤノンSタワーで「大判プリンターでインバウンド需要を取り込みませんか！」と題したセミナーをキヤノンマーケティングジャパン（キヤノンMJ）の協力を得て開催した。

セミナーに先立ち、キヤノンMJの山崎研治部長は「訪日外国人がますます増えている中、今が旬のインバウンド需要を取り込む大判プリンターを紹介し、皆様の業務拡大にお役に立ちたい」とあいさつ。

つづいてセミナーを主催した関複教育情報部・松岡豊部長は原宿に行った際に外国人の多さに驚いた経験を述べ、本日のテーマである「外国の人たちにお店に入りやすくする多言語対応のポスターなどの作製がビジネスにつながると思う」とセミナーへの期待を語った。

関複斎藤理事長のあいさつのあと、キヤノンMJプリンティング企画本部LFP企画部 森本晃二氏が講演した。

森本氏は、訪日外国人観光客の急激な増加による、インバウンド需要で恩恵の受ける業界に百貨店、家電量販店、コンビニ、ディスカウントショップ、ドラッグストア、免税店などの小売業界や、飲食業界、宿泊業界、観光業界などをあげた後、訪日客の困りごとのトップは「言葉の壁」であることを指摘。お客様の満足度アップには多言語表示対応力が欠かせないことを強調した。

その有力な解決策の一つとしてキヤノンオリジナルの多言語ポスター作成アシスト機能を搭載したポスター簡単作成ソフトPosterArtistとキヤノン大判プリンターimagePROGRAFを紹介した。

PosterArtistの持つ、多彩なテンプレートと11言語に対応した翻訳文言集をつかいポスターをデザインし、多彩なメディアに対応したimagePROGRAFで作った大きなポスターで通行人の足を止め、お客様に訴求し、売上向上へつなげられるという。

また「キヤノンの大判プリンターに使用されるLUCIA TDインクは耐水性にもすぐれ、キヤノン耐水ポスター合成紙（マット）を使用すればラミネート加工なしでも最長6か月の屋外展示が可能。1～3か月程度で張り替えるポスターのニーズに最適」と語った。

森本氏はインバウンド需要取り込みのため「低コスト、短納期でポスターを作りたい」という顧客ニーズに応えるためにPosterArtistとimagePROGRAFを導入することを提案した。

つづいて場所をショールームに移し、実機の見学を行った。

■プロダクションプリンターimagePRESS C660CA

厚紙の対応坪量を従来の300g／㎡から350g／㎡まで向上した他、店頭POPやポスターなどを出力するために、長尺紙の対応を、従来の762㎜から1,300㎜に拡大し用紙対応力の強化を図ったという。

■大判プリンターimagePROGRAF

セミナーで取り上げられたプリンター。成果物のポスターは勿論、出力された図面にも参加者は熱心に見入っていた。

大判プリンターimagePROGRAFの説明を熱心に聴講

我が社の業務（特別篇4）

～100年企業を目指して!～

「印刷業から情報デザイン業」へ 新たな目標を掲げる

株式会社クイックス
代表取締役 岡本 泰 氏

当社は私の祖父岡本万利が 日本敗戦により吉林省より引き揚げ、昭和 22 年に 刈谷の地で創業したことにはじまります。戦後の荒廃とあふれる失業者を見て、直ちに町営授産所（職業訓練所）としてスタートしました。

その後、昭和 26 年に社団法人愛知謄写技術補導協会となり、昭和 46 年株式会社刈谷高速印刷に改組、63 年には東京営業所を開設。さらに平成元年には株式会社クイックスと社名変更しました。戦後間もない謄写版印刷の時代からデジタル化が進んだ現在まで、長年培ってきた文字組版に関する徹底したこだわりは当社の誇りであり伝統です。100 年企業を目指す我が社は、「印刷業から情報デザイン業へ」と新たな目標を掲げました。「業態を進化させなければ情報革命から取り残されてしまう」との思いから、提案・ソリューションのための情報収集の対象を顧客から顧客の顧客に変え、収益の柱を印刷からデータ制作・データ納品にシフトしていきます。特に、コア技術として 印刷技術から情 報表現技術＋ CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）技術に転換することが弊社の大きなテーマとなっています。また、お客様との関係も、ビジネスパートナーに高めていく事で当社独自の販促プロモーションが提供出来ると考えています。

CMS とは、一般的には「Web サイトを管理・更新できるシステム」のことを指します。Web サイトの更新は、これまで HTML や CSS といった専門知識が必要なことから、テキストや画像の一部の修正でさえ、専門業者へ依頼しなければならないことが通例となっていました。CMS では、専門知識が必要な部分は全てシステム側に制御させ、新着情報など情報公開に即時性を求める内容や、軽微なテキストや画像修正など簡単にメンテナンス（編集）を自動で行えることが魅力で、専門的な知識を学習することなく、誰でも簡単に Web サイトを更新・管理することができる大変便利なシステムです。当社ではこの CMS 技術を使った「i-Share」を独自開発し、継続的に収益を上げる事が出来るコンテンツ供給サービスを始めました。これは、印刷会社が業態変革して目指すべき一つの姿と言えます。

2018年より新中期経営計画「KWIX BRAND 2023」では、「お客様に選ばれるクイックスであり続ける!」を合言葉に、明確に情報デザイン業への変革を宣言しました。70 年の長きにわたり、経営資源を印刷業としての「人・物・金」に集中してきており、これを転換させるのは容易ではありません。ここ数年は人財育成及び開発投資が続く厳しい経営環境ですが、その先に、必ず高付加価値創造企業として、また、業界の業態変革モデルとしての役割も果たせると確信しています。

2019年8月吉日

関東複写センター協同組合
組 合 員　各位

関東複写センター協同組合
理　事　長　　斎藤　隆正
教育情報部　　松岡　　豊

関複セミナー

『働き方改革促進セミナー』

日頃より関複の組合活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、今回は当会協賛会員コニカミノルタジャパン様のご協力により『働き方改革促進セミナー』と題しまして関複セミナーを開催いたします。

今回のセミナーは、今年度4月より施行されました「働き方改革関連法」につきまして、自社実践から得た経験、失敗談を含めた働き方改革実践ポイントを第一部で紹介していただきます。

また、実際に社員が勤務しているフロアーの見学やポイント説明もございます。

第二部では、テレワーク導入等、働き方改革の促進を目的とした各種補助金、助成金、優遇税制に関し活用ポイントを詳しく説明していただきます。

セミナー会場は20名程入れる部屋をご用意しておりますので、皆様ふるってご参加ください。

以上

記

日　時　　９月１９日（木）　１５：３０～１７：３０（受付１５：１５～）
場　所　　コニカミノルタジャパン株式会社
　　東京都港区芝浦１－１－１　浜松町ビルディング
　　（直接「総合受付２６階」にお越しください。）

≪ 受付締切：９月１７日（火）　≫

＜参加申込＞　関複事務局　ＦＡＸ：０３（３８１５）４３５７

会　　社　　名	
氏　　名	計　　名
ＴＥＬ／ＦＡＸ	
Ｅメールアドレス	

※切り取らずこのままＦＡＸをお送りください。

KONICA MINOLTA

関東複写センター協同組合様　限定セミナー

補助金・助成金を活用した働き方改革促進セミナーのご案内

補助金・助成金を上手に活用して更なる経営力強化を目指しませんか？

2019年4月より「働き方改革関連法」施行が予定され、残業時間の上限規制、有給休暇の取得義務化、勤務間インターバル制度など新たな施策が盛り込まれています。
企業にとって新たな人材の確保、在籍社員の方がより長く・モチベーション高く働いてもらうには、ITツールの導入により「多様な働き方の実現」が効果的です。
本セミナーでは、そこで課題となる「労務管理のポイント」、国が提供する「補助金・助成金制度」について役立つヒントが得られます。この機会にぜひご参加下さい。

概要

開催日時　**2019年9月19日（木）15:30～17:30**
（15:15受付開始）

会　場　**東京都港区芝浦１－１－１　浜松町ビルディング２６階**
（最寄駅　JR「浜松町」／　都営浅草線・大江戸線「大門」）

受講料　**無料**

定　員　**20名**

お問い合わせ　コニカミノルタジャパン株式会社　東京支社　　担当：小池　良治　TEL：080-5511-3135

カリキュラム

セミナー１
時間：15：30　～　16：20
タイトル：「コニカミノルタ自社実践した働き方改革のご紹介」
コニカミノルタジャパンのオフィスフロアー見学も実施致します。

セミナー2
時間：16：20　～　17：30
タイトル：「働き方改革を促進　IT活用に使える補助金・助成金と申請のポイント」
講師　　：犬飼社会保険労務士事務所　社会保険労務士　犬飼　久恵
働き方改革実現に役立つ補助金、助成金、優遇税制等の活用ポイントを詳しく説明致します。

経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry
IT補助金

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare
時間外労働等改善助成金

中小企業庁
中小企業経営強化税制

RICOH
imagine. change.

RE100に向けた取り組み

リコーは2017年4月に、新たな環境目標を設定しました。
脱炭素社会の実現を見据えて、徹底的な省エネに加え、再生可能エネルギーを積極的に活用していきます。
このため、国際的なイニシアチブであるRE100に日本企業として初めて参加しました。
2050年には自社排出の温室効果ガス(GHG)排出ゼロを目指します。

※RE100(Renewable Energy 100%)

リコーは2017年4月にRE100への参加を表明

RE 100 | ℃ CDP

100%再生可能エネルギーで事業活動を実施することを目標

世界全体で171社加盟(2019年4月11日現在)

■ リコーのRE100に関する目標

2030年30% ⇒ 2050年100%

ZEBの取り組み 省エネ 創エネ 蓄エネ の三位一体

＊ZEBとは･･･省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使うエネルギーをつくることで、エネルギー消費量をゼロにすることを目指した建物のこと

■ リコージャパンの取り組　岐阜支社 新社屋

岐阜支社新社屋開所式 2019.3.20

ZEB (ゼブ)	従来の建物で必要なエネルギー	ZEBで使うエネルギー − ZEBで創るエネルギー 0%以下
Nearly ZEB (ニアリーゼブ)	従来の建物で必要なエネルギー 100%	ZEBで使うエネルギー − ZEBで創るエネルギー 25%以下
ZEB Ready (ゼブレディ)	従来の建物で必要なエネルギー 100%	ZEBで使うエネルギー 50%以下

この建物の
エネルギー消費量 78 %削減

★★★★★

ZEB

BELS 建築物省エネルギー性能表示制度
国土交通省告示に基づく第三者認証
2019年3月7日交付

＊BELS認定とは･･･建築物の省エネ性能を表示する第三者認証制度の1つで、一次エネルギー消費量をもとに5段階の星マークで評価される。

※BELSは、一般社団法人住宅性能評価・表示協会の登録商標または商標です。

キヤノンMJの提案 ㊲

開催一年前、キヤノン S タワー外壁に過去最大の大会エンブレム装飾が完成

会場／キヤノン S タワー
開催日／2019 年 7 月 24 日（水）～2020 年 9 月 30 日（水）

キヤノンは、東京都が主体となって実施する「民間施設を活用した東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の装飾事業」に協力しています。東京 2020 オリンピックの開催 1 年前を機に、キヤノン S タワー西側外壁への東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会）エンブレムの装飾が完成しました。

掲出されるエンブレムは過去最大サイズ※（幅約 27.0m × 高さ約 17.4m）で、品川駅のホームや走行する電車の中から見ることができるため、大会本番に向けてオリンピックとパラリンピックのムードを高めていきます。品川駅を利用する際にはキヤノン S タワーをご覧ください。

キヤノンは東京 2020 大会の「ゴールドパートナー」（スチルカメラおよびデスクトップ・プリンター）です。今後も大会を積極的に応援していきます。

※2019 年 7 月 24 日時点。東京 2020 大会エンブレムとして。

富士ゼロックスの提案 ㊲

他社機器を含む印刷工程全般を最適化し、統合型ワークフローを実現する新ソフトウェア発売

～Production Cockpit 2.0：可視化と自動化で印刷業界の働き方改革に貢献～

富士ゼロックス株式会社は、印刷会社の印刷工程全体の業務最適化に貢献し、統合型ワークフローを実現する「Production Cockpit 2.0（プロダクション コックピット 2.0）」を、2019年7月25日より国内で発売しました。このソフトウェア商品は、2018年7月に開催された「IGAS2018」に参考出品して大きな注目を集めた「SE-BizObject Production Cockpit 1.0」に市場から寄せられた声を反映して商品化されたものです。

Production Cockpit 2.0の3つのポイント

1. オープン化（Open platform）

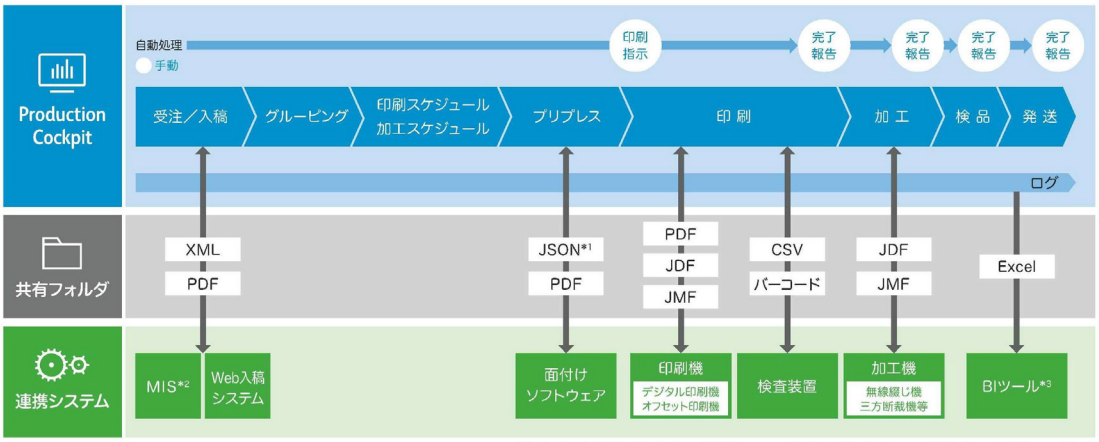
オープンプラットフォーム

印刷業界の標準規格であるJDF（Job Definition Format）やJMF（Job Messaging Format）をベースに、さまざまなメーカーのシステム・設備をつないで、1つのユーザーインターフェイス（UI）からのジョブ管理を可能にします。 また、オフセット印刷機とデジタル印刷機を統合管理するハイブリッドワークフローを実現。当社製デジタル印刷機だけでなく、他社製デジタル印刷機、オフセット印刷機との連携もサポートします 。

2. 全工程の自動化（Automation）

全工程を網羅した自動化

工程の部分最適化ではなく、受注から発送まで全工程の最適化を通じて、生産性の向上を実現します。



＊1 JavaScript Object Notation ＊2 Management Information Systems ＊3 Business Intelligenceツール

グルーピングによる合理化

用紙種類など、同じ属性のジョブを自動でまとめてグルーピングして印刷を行うことで、作業時間の効率化と短縮を図ります。

スケジューリングの最適化

印刷枚数/加工処理数、各機器の処理能力、各機器の稼働スケジュールに基づき、あらかじめ印刷/加工のスケジューリングを自動で行います。

3. 見える化（Visualization）

作業状況を一元管理

受注ジョブの案件進捗状況、機器稼働状況、生産状況等、印刷業務の上流から下流（受注～配送）までの全工程の状況をリアルタイムに可視化できるため、工場全体の生産性をさらに高めます。

実績の集計/分析

エクスポートデータを、BIツールと連携させて分析することで、コスト/マシン稼働率/トラブル要因/工場稼働率等の生産状況を可視化でき、経営判断を支える情報として活用できます。

印刷機のステータス画面
各印刷機／加工機の進捗率や生産余力時間が確認できます

富士ゼロックスは、価値提供戦略「Smart Work Innovation」を印刷業界においても推進し、お客様の生産現場の働き方改革と企業競争力強化に貢献します。

ドキュメント・サービス・フォーラム

「2019年中間発表会」を開く

6ビジネス研究会が活動報告／真茅FX取締役専務執行役員が「構造改革を終え、成長にギアを！」と強調

白橋会長

真茅FX取締役

富士ゼロックス（FX）のユーザー組織であるドキュメント・サービス・フォーラム（DSF、白橋明夫会長）は7月19日午後3時半から、仙台市青葉区の江陽グランドホテルで「2019年中間発表会」を開いた。20社31人が参加した。

開会のあいさつに立った白橋会長はデジタル印刷のデファクトスタンダードをつくるべく使命を持つDSFの役割を力説するとともに、DSFは今までもこれからもFXと胸襟を開いてDSFをどう前進させていくかの礎をつくっていきたいと述べた。

つづいて佐藤真紀DSF事務局長（FX販売戦略推進部）がこの7月に大きく体制が変更になったFXのグラフィックコミュニケーションサービス（GCS）国内営業新体制について説明した。今まで以上に専門領域に特化できるメーカー営業体制に変更し、ユーザーへの対応スピードの向上を図るべく経営判断をより速くするために体制を強化したという。

新体制ではFX取締役専務執行役員の真茅久則氏（富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ〈FFGS〉前社長）がGCS事業管掌担当となった。

その後、6つのビジネス研究会のリーダーによる中間発表会に入った。Free Flow研究会はリーダーの鴻村健司コームラ社長とサブリーダーの林田大平東京文久堂常務取締役が発表。営業戦略（コーチング）研究会はオーディーピーセンターの林譲治専務取締役が、ODPグラフィック研究会は白橋クリエィティブセンター長の丹羽治久氏が、デジタルマーケティング研究会は三恵社常務取締役の木全俊輔氏がそれぞれ15分ずつ活動報告を行った。経営者の会は広工の鈴木俊哉社長の代理で事務局が、社会貢献活動はユーメディアの今野均社長が10分ずつ中間発表を行った。

また活動報告終了後には富士ゼロックスを代表して真茅取締役専務執行役員があいさつに登壇し「2年間の構造改革を終え、GCS事業の成長に向けてギアを入れる」と強調し、具体的には「特に開発面、エンジンでもっと新しいもの、先進的なものにチャレンジしていかないといけない。またソフトウエア、マーケティングオートメーションなどの上流に注力する」とその必要性を語り、さらにDSFを盛り上げていきたいと述べた。

なお、中間発表会に先立って午後1時からは、仙台市若林区六丁の目西町4-12のユーメディア印刷センターの新築工場見学を行った。同センターは2018年10月に新築移転したもの。印刷というメディアを通してより地域を豊かにするために、地域と人と情報をつなぐ、新しいコミュニケーションの創出に努めることをコンセプトとしている。

リコージャパン 第9回全国複写リコー会　次世代経営研究会開く

若手経営者、次世代幹部が参加

講師の田中由一氏

リコージャパンは7月12日午後2時から東京・港区芝浦のリコージャパンプリンティングイノベーションセンター（PIC）で全国複写リコー会の若手経営者、後継者、次世代幹部を対象にした「第9回次世代経営研究会セミナー」を開催した。

冒頭、武田健一リコージャパン取締役常務執行役員産業ソリューション事業本部長があいさつに立った。

同セミナーでは「印刷からデジタルサイネージの世界へ」と題し、田中印刷所代表取締役の田中由一氏が講演した。

田中氏は印刷業界の経営環境が厳しさを増す中、業態変革の一環としてコンテンツビジネスに取り組み、3Dコンテンツの企画・制作技術を中核にした様々な新製品の開発、販売を手掛けてきた。大ヒットした商品にデジタルサイネージの3D-CGバーチャルマネキンがある。人型に切ったアクリル板にキャラクターCG動画が投影されるもので、大阪創造取引所への出展で世間から大いに注目を集めた。

また今後のビジネス展開として広告代理店業への進出やバーチャルマネキンの双方向性をいかしたVtuberもはじめているという。

商談の失敗例なども屈託なく話され、独特のユーモアまじえた講演は最後まで飽きさせなかったが、冒頭に言われた「業態変革をしなければとっくに潰れていた」という言葉はやはり重く響く。企業存続をかけ新事業に果敢にチャレンジするそのひたむきさは、受講者にもしっかりと伝わったのではないか。

セミナー会場

セミナー終了後の恒例のリコータイムでは、今売れすぎて品切れ状態のRICOH Handy Printerと、使い道が多く、何かと便利な360°カメラRICOH THETAが紹介され、受講者の目の前で実演した。特に今回注目されたHandy Printerは、インクヘッド幅による印字の制約を考えてしまうが、実演者の手で、幅の狭さを全く感じさせない画像が描かれた時には何人かの受講者から感嘆の声が発せられた。操作に習熟する必要があるらしいが、ちょっとしたイラストなら守備範囲だそうだ。このような使い方が浸透すれば、品薄状態はさらに続くのでは、と思わせた。

ハンデイプリンタのデモも行われた

ホリゾン・ジャパン 宮崎進社長に聞く

新たな時代に新たな挑戦を！
トータルソリューション提供でサービスサポートの拡充を図る！

宮崎社長

この7月21日、ホリゾン東テクノとホリゾン西コンサルが統合し、ホリゾン･ジャパンとしてスタートした。その初代社長が宮崎進氏である。

キヤノンマーケティングジャパン（キヤノンMJ）から転身した。プリンタの営業部門、カタログなど印刷物を発注する企画部門にも所属したことがあり、プリンタ商品企画およびクライアントとしての経験がポストプレスメーカー・ホリゾングループの国内販売会社のリーダーとして大きく生きることになる。

「国内の販売でホリゾングループはエリアを東西に分けて約20年間2社体制でやってきたが、それ故に問題と課題があった。今回新たに社員共々新たな気持ちでやっていきたい。市場が変わっていく中で、従来は箱売りに近い、単体に付加価値をつけて売ってきたわけだが、やはり現在ではシステムで販売しないといけない。そのため、課題解決のためのソリューションをご提供していく。

また、国内販売の戦略を1社にまとめ、日本全国を均一サービスで応えていく。2018年から始めた、システム販売のチームセリング体制はかなりの成果を上げてきた。そのため、研究・開発・生産を担う親会社の太陽精機とさらに連携して、デジタルソリューション商材を充実させ、サービス体制を整えてお客様対応していく」

●ホリゾン・ジャパン
本社 東京都千代田区東神田2-4-5
東神田堀商ビル5F　TEL03-3863-5361

キヤノンMJ／キヤノンPPSが商印向け IJ輪転プリンタ「Océ ProStream 1000」を発表

オフ機に迫る高品質を実現

キヤノンマーケティングジャパン（キヤノンMJ）とキヤノンMJの商業印刷専門会社であるキヤノンプロダクションプリンティングシステムズ（キヤノンPPS）は7月25日、東京・大田区下丸子のキヤノン本社カスタマーエクスペリエンスセンター東京で1200dpiフルカラーインクジェット（IJ）輪転プリンタ「Océ ProStream（プロストリーム）1000」の新製品発表会を開催した。同機は今夏8月下旬から発売。

新開発のポリマーナノインクとカラーグリップにより高画質、高濃度印刷を多種多様な用紙への対応を実現し、オフ機に肉薄する高性能としており、高い印刷品質と幅広いメディアへの対応、デジタル印刷技術の活用で高級カタログやプレミアムDMなど印刷ビジネスの拡大に大きく貢献できるという。

主な仕様：ピエゾ式インクジェット、プリンタ解像度1200dpi×1200dpi、搬送速度は標準80m／分、低速時40m／分で印刷可能

Océ ProStream（プロストリーム）1000

JBR 令和元年度 第2回「経営セミナー」を開催
自社サービスの新たな“切り口”を考える

河島講師

情報ビジネスリコー会（JBR、細井武会長）は7月4日午後3時半から、東京・港区芝浦にあるリコージャパンプリンティングイノベーションセンター（PIC）で今年度第2回目となる「JBR経営セミナー」を開催した。

“自社サービスの新たな「切り口」を考える”と銘打ったセミナーのテーマは『見逃している新市場を発見し、徹底的に開拓する～新市場開拓に成功した事例に見えた4つのポイント～』。バリューマシンインターナショナル代表取締役河島弘司氏が講師を務めた。

河島氏はセミナーの冒頭でリピーター獲得の重要性を指摘し、新市場の開拓の前に「既存顧客の精査」が最優先されることを強調した後、本題のテーマである、見逃している新市場を発見する「4つのポイント」を次のように指摘した。①自社サービス(技術、ノウハウ）のOKK（思い、根拠、こだわり）をオープン化（外に発信）する②商品は変えずに「用途」を変換してみる③同じ機能でも「緊急性」が高い市場を探す④競合が手を付けていない「ニッチ接点」に挑む。

河島氏はそれぞれ具体例を挙げ説明したが、セミナーの中で「お客様の不安、不満、不便を徹底的に改善すること、言い換えればお客様の役に立つことで信頼が少しずつでも上がる」と新規、既存を問わない顧客に対する重要な基本姿勢を語った。

講演後のリコータイムでは新製品モノクロプロダクションプリンターPro8300シリーズとRICOH Handy Printerが紹介された。

JBRが第18回納涼大会を開催
日の出埠頭から東京湾クルーズで。参加者は談笑、爆笑、満面の笑み

乾杯する細井会長

情報ビジネスリコー会（JBR、細井武会長）は7月19日午後7時から東京・日の出埠頭から出航するシンフォニーモデルナ号で「第18回納涼大会」を開催した。

JBR会員企業の社員ら総勢53人が乗船、パーティーに参加した。

会は細井会長のユーモアに満ちた「飲みすぎ注意」のあいさつと乾杯の発声でスタートした。

ビール、ワイン、焼酎、日本酒も飲み放題、料理も豊富に用意された会場には和やかな談笑の輪が広がった。

宴半ばで、事務局が用意したクイズ大会「元号トリビア ハイ＆イイエ」が行われると会場全部が爆笑の渦におおわれた。

勝者にも、敗者にも豊富に用意された賞品が行き渡り、いくつもの賞品をゲットした参加者の顔は満面の笑みに包まれた。

賞品は「温泉旅行」or「温泉気分」

2時間半に及んだ納涼会は終始笑いに満ちあふれていた。

爆笑につぐ爆笑 盛り上がったクイズ大会

5G（ファイブ　ジー）について

未来予測研究所
代表　藤田　友久

今回は、今話題になっている「5G（ファイブジー）」について述べて行きます。5Gと聞いて多少知っている人もいると思いますが概略説明させていただきます。

5Gとは、Gとはゼネレーション（世代）を意味します。言い換えれば第5世代の移動通信システムなのです。でも、従来の移動通信システムとどう違うのでしょうか？　従来の通信システムは基地局から電波を送信するシステムで速度が遅く、途中で通信が途絶える不便さがありましたが、今回の第5世代移動通信システムは、データをクラウド上で一括管理を行い、基地局に分散して行う分散型ネットワークシステムなのです。あくまで理論上ではありますが、従来の4G通信システムの100倍近い速度で通信が可能になると言われています。例えば2時間の映画が3秒でダウンロードができるスピードなのです。従来のシステムにあった途中で通信が途絶えることはありえないのです。では、5Gは日本ではいつからサービスが始まるのでしょうか？　日本の大手携帯3社（ドコモ・KDDI・ソフトバンク）は、来年東京オリンピックの年2020年の提供を目指しているところです。

今、米中で5Gの規格をめぐって覇権争いが起こっています。最も技術が進んでいるのが、中国のファーウエイ社だと言われています。ですから、米国はファーウエイ社の機器排除に乗り出しているのです。スマホの機器においては、日本はある面遅れていると言わざるを得ないのです。日本では、これから5Gに対してのインフラ整備を実用化に向けて早急に行わなくてはならないのです。ただ心配なのは、4Gの基地局の転用です。ヨーロッパでは、今年の1月に5Gの試験運用が開始しましたが、4Gの基地局でやったところ、5Gの通信速度が出なかったと報告があります。日本では同じようなことをしないで欲しいと思います。全体のシステムが違うので通用しないのではないでしょうか。

次に5Gが特に注目されているのが車の自動運転です。無人運転ではありませんが高速道路における交通事故が減少され、無人化になれば自動運転バスや自動運転トラックが普及すれば人手不足の過疎地では人の移動や物流で役に立つことは間違いありません。5Gが日本では実用化なるには少なくても3年から5年はかかると思います。5Gのインフラ整備には、莫大な費用がかかります。全産業が一丸となって取り組む一大プロジェクトなのです。どうか、この機会をビジネスチャンスにしてください。5Gのインフラ整備が整えば企業も家庭環境も一変することでしょう。インフラ整備が整った時に、5Gを上手く活用し運用できるかが企業の命運を賭けることになるのではないでしょうか。5Gをいかに上手く活用できるかがこれからの企業の鍵を握っていると言っても過言ではありません。どうか皆様もよく5Gを研究して5Gを上手く活用し大きく会社を発展させてください。皆様のご健闘をお祈りいたします。

複写を考える㊼（複写業を中心とする　複写の歴史）

細井　大建

松煙墨：松の枝や皮を燃やして煤を採煙し、膠、水、香料などと混ぜ合わせて造られた墨を松煙墨といいます。生き松や老松を原料にしています。

油煙墨：油を燃やして煤を採煙し、膠、水、香料などと混ぜ合わせて造られた墨を油煙墨といいます。代表的な油：胡麻、菜種、椿、鉱物性の油もあります。

代表的な油　Fig 113

しかし単に煤を集めただけで墨が出来るわけではありません。

煤の小さな粒子同士を接着させ、硯で磨ったときに水と良く馴染み、書いた文字を紙に定着させる。

そのような、墨に欠かせない役割を与えてくれるのが「膠（にかわ）」です。

膠（にかわ）

「煮皮」に由来する膠（にかわ）は、牛・馬・鹿などの外皮と肉質との中間にある組織や骨などを煮詰めた後、型に流し込んで冷却し、さらに乾燥させたものです。

墨は煤と膠を良く練り合わせますが、この時練り合わせが悪いと墨の内部に気泡が多く残り湿気を吸い易く、加水分解により膠の分解が早いため煤の凝集が進み、墨の寿命が極端に短かくなりますのでしっかり練り合わせる必要があります。

練り合わせた墨は木型などに入れて成型したのち、灰の中に埋めて乾燥させます。

乾燥は湿った灰から乾燥した灰へと、徐々に入れ替えていく「灰替え」をすることで、急激な乾燥によるヒビ割れを防ぎます。小さなものでも数ヶ月、大きなものになると数年の歳月をかけて少しずつ水分を蒸発させ、ようやく固形墨が完成します。

なお、膠の主成分はタンパク質のため暑い夏の間は腐りやすので、墨作りは冬季が本番です。

また膠には独特の悪臭があり、それを消すために香料を入れるなど工夫します。香料として有名なものは麝香（じゃこう）・竜脳（りゅうのう）・白檀（びゃくだん）・梅花などが使われていましたが現在ではそれらの合成香料が使われているようです。

古今亭志ん朝　Fig 114

においは気を落ち着けるためにも重要な要素であり、良いにおいの墨の方が上等という考えもありました（高価）。

蛇足ながら「抜け雀」という落語の中にも、小田原の宿屋の主人が無一文の泊り客に宿賃の「抵当（かた）に絵を描いてやる」という事になり亭主は墨をすらされ、その時「おや、この墨はよいにおいがしますね」などという会話が盛り込まれていますよ。

『月刊関複』表紙掲載写真ご提供のお願い

月刊『関複』では毎月、表紙の掲載写真を理事の皆様の協力で投稿頂いております。今後は会員同士のコミュニケーションも含め多くの会員皆様からの投稿をお願いしたいと思います。

題　　材：フリー
撮影機材：一眼レフ～スマホ全て可能
※タイトル又は簡単な説明を 30 文字程度付けて下さい
送 付 先：メールにて以下へ送付して下さい
kjun@keyo.co.jp
※写真は横長タイプを推奨します

■今月号の掲載写真

七里ヶ浜
撮影者：北田 博章氏

８月号：黒井由美子氏
東京ドーム

７月号：北田 博章氏
浅草雷門

６月号：第６回 関複オープンゴルフコンペ
（於：さいたまゴルフクラブ）

関東複写センター協同組合月刊誌

月刊関複 第 54 号

令和元年９月１日発行

購読料／年間購読 6,000 円（消費税・送料込む）
1 部 500 円（税込み・送料別）

編集発行人：**関東複写センター協同組合**
広報企画部 月刊関複編集委員会

発　行　所：**関東複写センター協同組合**
住　所　〒112-0002
文京区小石川 1-4-12
文京ガーデン ザ ウエスト 704号室
ＴＥＬ　03-3815-4338
ＦＡＸ　03-3815-4357
Ｅメール　info@kfcc.or.jp
ＵＲＬ　http://www.kfcc.or.jp

印　刷　所：**株式会社ケーヨー**

KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

真の プロダクション 印刷システム

- マシンの生産稼働率向上
- 高品質で多彩な印刷物の提供
- スキルレスオペレーション
- 高水準の画像品質を安定供給
- 合理的な出力環境の構築
- 印刷物の付加価値向上に寄与

新開発のインテリジェント
クオリティオプティマイザー

印刷生産機としての実稼働率の向上、より高い品質の印刷物をより確実に、安定して供給。そしてそれらをスキルレスでのオペレーションで実現する。プロダクション印刷システムの基本性能向上に拘った真の生産機、それが、AccurioPress C6100シリーズです。

AccurioPress C6100/C6085

- 色管理・表裏見当調整を自動化
- 用紙厚によらず毎分100枚※1の高速出力
- 受注幅を拡大する400g/㎡の厚紙対応力
- 独自技術を駆使した高画質と色安定性
- サービスの多様化を推進するフィニッシャー群

※1：C6100にて、A4ヨコ・52～400g/㎡紙時

＊写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

●商品に関するお問い合わせは 0120-805039 受付時間／9:00～12:00・13:00～17:00（土、日、祝日を除く）

http://www.konicaminolta.jp

表現力は、想像力を超えて。

オンデマンドで、メタリックの世界へ。

業界初*、1パス6色プリントエンジンが、魅力的で訴求力に優れたメタリックカラーを、オンデマンドでスピーディーに実現します。ゴールド、シルバー、ホワイト、クリアーの特殊トナーから最大2色を選択し、CMYKトナーを組み合わせることで、多彩な印刷表現を実現。プリントビジネスの可能性をより鮮やかに広げます。

＊乾式電子写真方式。2017年10月現在。

イリデッセ プロダクション プレス
Iridesse™ Production Press

写真はオプション装着時

富士ゼロックス株式会社　www.fujixerox.co.jp

ご意見、ご相談などはお客様相談センターへ。0120-27-4100　受付時間 9:00〜12:00 / 13:00〜17:00（土・日・祝除く）

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

FUJI xerox

RICOH
imagine. change.

ようこそ、可能性。

商用印刷や企業内印刷の最前線では、あらゆるシーンに可能性がひそんでいます。

プロの現場の期待に応えるのは、さらなる高品質と用紙対応力を磨きあげた RICOH Pro C5200S シリーズ。

この 1 台から、新たな付加価値を生み出すステージが始まります。

RICOH Pro C5210s/C5200s

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

※写真はRICOH Pro C5210S にオプションを装着したものです。

プロ、体感。

RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース お問い合わせ：050-3534-2121
RICOH Pro をはじめ、プロダクション プリンティング ビジネスの新たなソリューションをご覧いただけます。また DTP セミナーも定期的に開催中。
※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。

この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスである RICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。
＊ iPhone/iPad/Android™ アプリケーション『RICOH CP Clicker』(無料)をダウンロードし、広告を撮影（クリック）すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧いただけます。

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2

※iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。※AndroidはGoogle Inc.の商標です。